施工要領書／取扱説明書 ●本書は施工後、お客様にお渡しください。 施工業者様／お客様用

抗菌剤入り補助手すり

ソフトハンドP-34M/P-34V

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。お読みになったあとも、すぐに取出せる場所に大切に保管してください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電)が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

施工と御利用にあたって

⚠警告

必ず実行	**必ず強度のある壁や建築構造体に取付ける** 土壁・石膏ボードなどの強度の無い壁に直接取付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをするおそれがあります。
必ず実行	**必ず指定の固定金具を使用する** 指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをするおそれがあります。
必ず実行	**各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する** 下地に十分な厚さ、補強がないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをするおそれがあります。
必ず実行	**取付完了後、手すりにガタツキが無いことを確認する** 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。
必ず実行	**ぬれた手、石けんのついた手で手すりを使用するときや、手すりがぬれていたり、石けんがついているときは、十分に注意して使用する** 手が滑り、重大な事故につながるおそれがあります。
必ず実行	**介助が必要な使用者の場合、介助者は事故が、発生しないように十分注意する** 使用者が、手すりをつかみそこなうなどにより、重大事故につながるおそれがあります。
必ず実行	**手すりと壁の間に、手や腕が入り込まないよう十分注意して使用する** 手や腕を挟むなどにより、重大事故につながらおそれがあります。
禁止	**修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造をしない** 手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。
禁止	**手すり以外の用途(ぶら下がったり、ゆすったり、けったり)に使わない** 手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。
禁止	**強い衝撃は与えない** 手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。
禁止	**定期的に、ガタツキがないか確認し、ガタツキがある状態で使用しない** 手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

警告

禁止	**手すりには、必要以上の力を加えない** 手すりの最大荷重は垂直荷重600N、水平荷重300Nです。この荷重以下であれば、多少の変形やガタツキが残る場合がありますが、はずれたり、割れたりしない範囲を示します。

⚠注意

お願い	**定期的な点検をする** いつまでもきれいな状態を保つために、ふだんは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、柔らかい布を中性洗剤の1～2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を拭き取ってください。
裸火厳禁	**たばこなどの火を近づけない** 手すりが焦げたり溶けたりするおそれがあります。
禁止	**アルカリ・酸性(弱酸性含む)・塩素系洗剤を使用しない** アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤を使用すると、部品が変色や劣化をすることがあります。
禁止	**推奨品以外のクレンザーを使用しない** 推奨品以外のクリームクレンザー、ナイロンたわし等の傷つけやすいものを使用すると、部品表面に傷がついたり、変色することがあります。

お手入れ方法

日常のお手入れで落ちない汚れの場合には、下記の要領でお手入れしてください。

油、クレヨン等の汚れ異物の付着

家庭用洗剤、強力洗剤（柑橘類洗剤）などを用いて拭きとってください。頑固な汚れは推奨品のクリームクレンザーで拭き取ってください。

- 洗剤を使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤の 1～2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に水拭きと空拭きを行い、洗剤分が手すり表面に残らないようにしてください。
- クリームクレンザーは、擦りすぎると光沢が落ちますので注意してください。光沢が落ちた場合は、ツヤだし剤を付けた布で拭き、光沢を回復させてください。

擦り傷・切り傷

サンドペーパー、ツヤ出し剤を用いて仕上げてください。

- サンドペーパーは、粗目から細目（♯120→♯240～♯400→♯1000）の順に擦って仕上げてください。サンドペーパーで落ちた光沢は、ツヤ出し剤を付けた布で光沢を回復させてください。

推奨品

●家庭用洗剤
マイペット（花王）
マジックリン（花王）

●強力洗剤
オレンジエース（ダイキョー）
オレンジマン（yuwa）

●クリームクレンザー
ホーミングタフ（花王）
ジフ（日本リーバ）

●ツヤ出し剤
リンレイ all ワックス（リンレイ）

●サンドペーパー
紙ヤスリ（ホームセンタ等で購入）
粗目：♯120
細目：♯240～♯400、♯1000

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

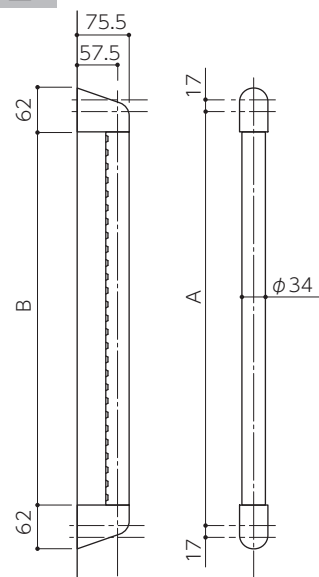
やさしさと安心を　たしかな技術で支えます。
ナカ工業株式会社　URL　http://www.naka-kogyo.co.jp

ナカ・テクノメタル 株式会社　URL　http://www.naka-techno.co.jp

携帯のカメラで左のQR コードを読み取りアクセスしてください。

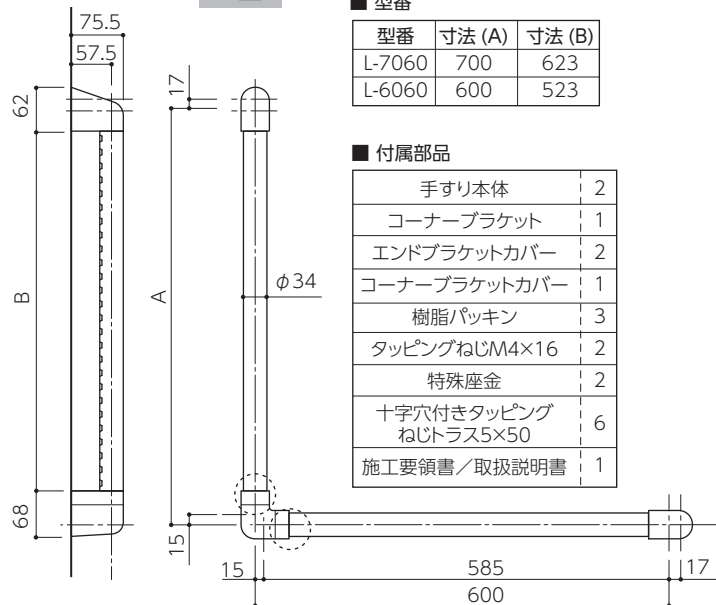
製品寸法

◌ のジョイント部分は、現場で組たてをおこないます。

■ 型番（I型）

型番	寸法 (A)	寸法 (B)
I-40	400	341
I-50	500	441
I-60	600	541
I-80	800	741

■ 付属部品（I型）

手すり本体	1
エンドブラケットカバー	2
樹脂パッキン	2
十字穴付きタッピング ねじトラス5×50	4
施工要領書／取扱説明書	1

■ 型番（L型）

型番	寸法 (A)	寸法 (B)
L-7060	700	623
L-6060	600	523

■ 付属部品（L型）

手すり本体	2
コーナーブラケット	1
エンドブラケットカバー	2
コーナーブラケットカバー	1
樹脂パッキン	3
タッピングねじM4×16	2
特殊座金	2
十字穴付きタッピング ねじトラス5×50	6
施工要領書／取扱説明書	1

取付例

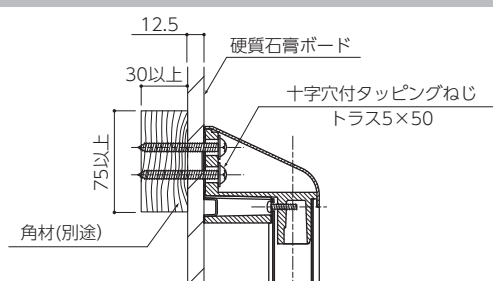
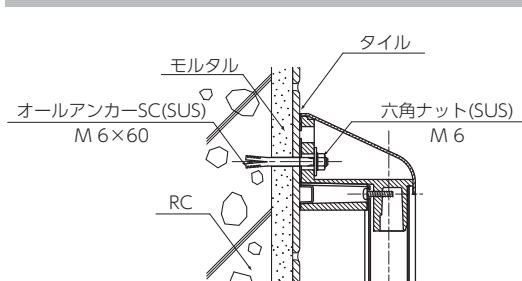
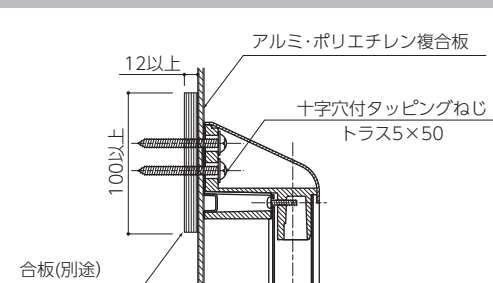
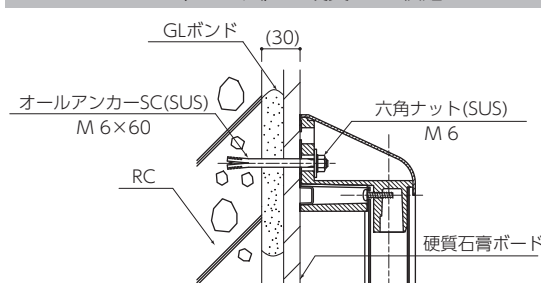
下記の取付例は一例です。取付けに使用するアンカー（十字穴付タッピングねじトラス）は、付属品です。他のアンカーについては、別途ご用意ください。（別売）

角材＋硬質石膏ボード

RC+モルタル＋タイル

モルタル
タイル
オールアンカーSC(SUS)
M 6×60
六角ナット(SUS)
M 6
RC

合板＋アルミ･ポリエチレン複合板壁

アルミ･ポリエチレン複合板
12以上
十字穴付タッピングねじ
トラス5×50
100以上
合板(別途)

RC（GL 工法）＋硬質 PB1 枚貼

取付方法 付属の取付アンカーを使用する場合

部品と製品タイプの確認

製品は、I型タイプとL型タイプがあります。製品寸法を参照し、作業前にタイプ、型番、及び付属部品を確認してください。取付例を参照し、下地に適したアンカーを使用して施工してください。

■ 必要工具

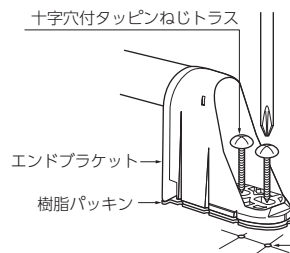
電動ドリル／ドリルの刃（φ4）／プラスドライバー

下穴あけ

製品寸法を参照して墨出しをおこない、φ4mm×深さ 55mm の下穴をあける。

エンド部分

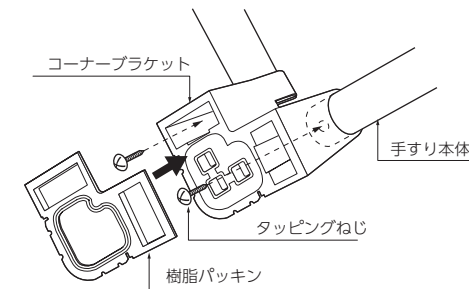
※L 型タイプは、ジョイント部分の作業を先におこないます。

1 ブラケットの固定

樹脂パッキンをエンドブラケットにはめ込み、下穴にねじ穴を合わせ、十字穴付きタッピンねじトラスで壁に確実に固定し、グラツキが無い事を確認する。

2 カバーの取付

エンドブラケットの上方より、カバーを挿入する。カバーの両サイドを押さえ、ブラケットに確実に嵌合させる。

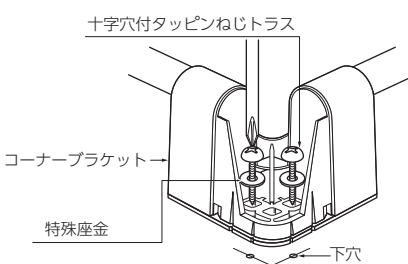
ジョイント部分

1 手すり本体とコーナーブラケットのジョイント

コーナーブラケットと手すり本体のねじ穴を合わせるように、手すり本体をコーナーブラケットにさしこみタッピングねじで確実に固定し、グラツキが無い事を確認する。その後、ブラケットに樹脂パッキンをはめ込む。

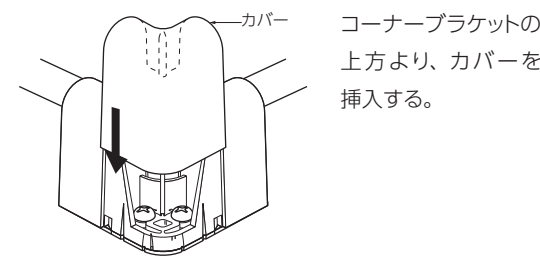
⚠警告

禁止 ジョイント部分の組立ては、接着剤を使用しないでください。手すりが外れ、ケガをするおそれがあります。

必ず実行 部品の取付け順序を守り、正しく施工してください。順序を誤ると、手すりの確実な固定ができません。

2 ブラケットの固定

ねじ穴を下穴に合わせ、特殊座金、タッピンねじトラスの順で、壁に確実に固定し、グラツキが無い事を確認する。

3 カバーの取付

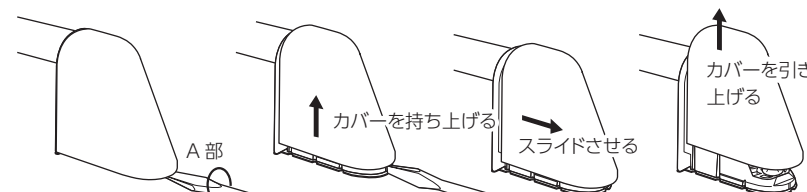
コーナーブラケットの上方より、カバーを挿入する。

⚠注意

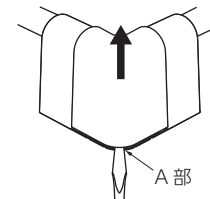
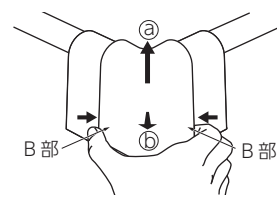
必ず実行 ブラケットカバーは、いたずら防止のため、一度取付けると外れにくい構造となっています。ブラケットカバーの取付は、手すりが確実に固定されていることを確認した後に、おこなってください。

カバーの取外し方法

エンドブラケットカバー

エンドブラケットカバー A 部と壁との隙間に、先端が薄いマイナスドライバー等を挿入し、カバーを上方に約 5mm 持ち上げ、右図の要領で取り外す。

A 部
カバーを持ち上げる
スライドさせる
カバーを引き上げる

コーナーブラケットカバー

1 コーナーブラケットカバーの A 部と壁との隙間に、先端が薄いマイナスドライバー等を挿入し、カバーを上方に持ち上げる。

2 コーナーブラケットカバーの下端部（B 部）を指で持ちⓑ方向に引きながら上方（ⓐ方向）にコーナーブラケットカバーを持ち上げて、コーナーブラケットからカバーを取りはずす。

⚠警告

禁止 カバーの取外しは、修理業者以外の人がおこなわない。手すりの破損等により、ケガをするおそれがあります。